

みずほCustomer Desk Report 2019/03/01号(As of 2019/02/28)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.91
TKY 9:00AM	110.88	1.1378	126.15	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	111.49	1.1420	126.90	1.3314	0.7144
SYD-NY Low	110.66	1.1360	125.90	1.3320	0.7167
NY 5:00 PM	111.38	1.1370	126.73	1.3253	0.7090
				1.3261	0.7092
NY DOW	25,916.00	▲ 69.16	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,532.53	▲ 21.98	日本10年債	-0.0300	0.00bp
S&P	2,784.49	▲ 7.89	米国2年債	2.5162	1.72bp
日経平均	21,385.16	▲ 171.35	米国5年債	2.5131	3.19bp
TOPIX	1,607.66	▲ 12.76	米国10年債	2.7141	2.89bp
シカゴ日経先物	21,500.00	110.00	独10年債	0.1810	3.40bp
ロンドンFT	7,074.73	▲ 32.47	英10年債	1.3005	2.85bp
DAX	11,515.64	28.31	豪10年債	2.1020	4.15bp
ハンセン指数	28,633.18	▲ 124.26	USDJPY 1M Vol	5.58	▲0.08%
上海総合	2,940.95	▲ 12.87	USDJPY 3M Vol	6.15	▲0.02%
NY金	1,314.40	▲ 6.80	USDJPY 6M Vol	6.73	▲0.06%
WTI	57.27	0.33	USDJPY 1M 25RR	-0.86	Yen Call Over
CRB指数	182.75	▲ 0.48	EURJPY 3M Vol	6.90	▲0.09%
ドルインデックス	96.21	0.06	EURJPY 6M Vol	7.54	▲0.10%

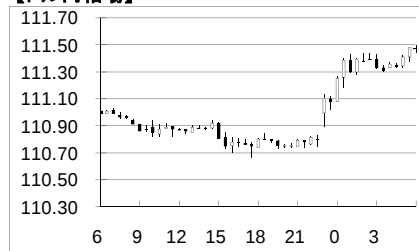
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月28日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	1月 -3.7%/0.0%	-2.5%/1.3%
	10:00	中 非製造業PMI	2月 54.3	54.5
	10:00	中 製造業PMI	2月 49.2	49.5
	22:30	米 新規失業保険申請件数	23-Feb 225k	220k
	22:30	米 GDP(年率/前期比)・速報	4Q 2.6%	2.2%
	22:30	米 個人消費・速報	4Q 2.8%	3.0%
	22:30	米 コアPCE(前期比)・速報	4Q 1.7%	1.6%

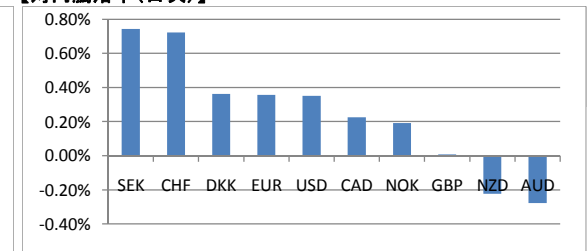
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月1日	10:15	米 パウエルFRB議長講演	-	-
	22:30	米 個人所得(前月比)	1月 0.3%	-
	22:30	米 個人支出(前月比)	12月 -0.3%	0.4%
	22:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	12月 0.2%/1.9%	0.1%/1.9%
	23:45	米 マークイット製造業PMI・確報	2月 53.7	53.7
3月2日	00:00	米 ISM製造業景況指数	2月 55.8	56.6

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.80-111.70	1.1300-1.1430	126.00-127.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は堅調推移となった。発表された米10-12月期GDPは前期比で減速したものの、市場予想を上回った。また、2月シカゴ購買部協会景気指数も予想を上回ったことから、景気後退懸念は行き過ぎとの見方が広まり、米10年債利回りが上昇、ドル/円も111.49円と年初来高値を更新する値動きとなった。本日のドル/円は上値重い展開を予想する。昨日の良好な指標を受けてドル/円は上値を切り上げたものの、数人のFRB高官の発言を鑑みると、FRBのハト派な姿勢は変わらないようだ。米長期金利の急上昇は想定しづらく、本日発表の米12月個人支出や1月個人所得、2月ISM製造業景気指数の結果も懸念されることから、ドル/円は上値重い値動きを予想する。

東京	東京時間のドル円は110.88レベルでスタート。中国製造業PMIが3ヶ月連続で50を下回るも反応は限定的。米朝首脳会談の結果を待ちながらの狭いレンジを推移していたが、午後に日経平均株価が下げ幅を拡大するとドル円もじりじりと下落し、110.75レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.75レベルでオープン。米朝首脳合意がなされなかったことなどからドル円は重い値動きが続いたが値幅は110.66-84円と限定的で110.80レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1371レベルでオープン。ドルが弱含む中でユーロに買いが集まり1.1420まで堅調に推移。1.1411レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3299レベルでオープン。特にアレクシット関連の新たなベドラインが出ない中、本日は比較的落ち着いた値動きに、ただ依然ポンドは堅調で1.33を挟んで1.3273-1.3318で推移し1.3297レベルでNYに渡った。(ロンドンフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	ドル円は110.80レベルでNYオープン。朝方発表された第4四半期米GDP速報値、第4四半期米コアPCEが予想を上回ったことからドル買いが強まり、111.13まで上昇。また、ケラダFRB副総裁がカブラン・ダス連銀総裁との対談で「利下げは基本シナリオではない」と述べたことも米金利上昇とドル買いをサポート。更にその後発表された2月シカゴPMIの結果も予想を上回り、一時111.49迄上昇。その後は小幅に値を戻し、111.38レベルでクローズ。一方、独2月CPIの結果が強いとの見方が強まる中、海外市場のユーロドルは一時1.1420まで上昇し、1.1411レベルでNYオープン。朝方発表の独2月CPIは予想をやや上回ったが、その後発表された一連の米経済指標が好調だったことからドル買いが強まり、1.1360まで下落する。しかし、ユーロ円が堅調に推移する中、下値追いは限定され、その後は1.1380近辺でもみ合う。終盤は小動きとなり、1.1370レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大熊・綱島